

静岡県立こども病院
電話交換機設備更新工事

特 記 仕 様 書

電話交換機設備工事特記仕様書

1. 一般事項

- (1) 工事名
静岡県立こども病院 電話交換機設備更新工事
- (2) 施工場所
静岡県静岡市葵区漆山860
- (3) 工事概要
 - ① 電話交換機本体更新
 - ② 電話交換機用電源装置更新
 - ③ 局線中継台更新
 - ④ 料金管理装置更新
 - ⑤ 多機能電話機更新
 - ⑥ チャンプケーブル配線施工
 - ⑦ MDF端子施工・ジャンパ施工
 - ⑧ 電話交換機設備とナースコール設備の連動
 - ⑨ 既設機器撤去・処分
- (4) 工事箇所
交換機本体・電源装置・MDF・料金管理装置：H棟6階 電話交換室
局線中継台：H棟6階 交換手室
多機能電話機：全館（各設置場所）
- (5) 工事完成期限
令和8年1月30日
- (6) 施工基準
 - ① 本工事は本仕様書及び国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（令和4年版）の他、電気通信事業法に定める技術基準に基づいて施工する。
 - ② 本工事は構内電話交換設備に関する電子交換機・電源装置・電話機及び機器据付工事に適用するものとする。
 - ③ 工事にあたり本仕様書に明記がない事項であっても、必要と認められる作業は、監督員に報告の上、請負者の責任において実施すること。
 - ④ 写真撮影について、機器については新規納入品及び撤去品を、施工にあたっては、作業前、作業中、作業後を撮影し、工事写真帳として取りまとめ工事完成時に1部提出すること。
- (7) 納入機器変更
発注者より入札後、機器構成及び機器台数の変更申出があった場合は、双方協議の上対処すること。
- (8) 電話交換機設備（全般）
 - ① 本工事は係員の指示に従い十分な打合せの上に施工すること。
 - ② 本工事は総務省が定める技術基準に準拠して施工すること。
 - ③ ナースコール設備と連携を行うこと。ナースコールの仕様に関しては設置業者と調整を行い、病院が運用するうえで既存と同等の機能を有すること。
 - ④ 構内電話交換機の設置は、既設設備を運用しながら設置すること。
 - ⑤ 各機器の試験調整は十分に行うこと。
 - ⑥ 将来的にスマートフォンと内線接続が可能な機種であること。
 - ⑦ PHSアンテナ129台（親機を除く）及びPHS電話機は既設機器を継続使用すること。
 - ⑧ 設備の切替において電話回線の切断時間及びPHSの利用不可時間が極小となるよう配慮すること。
 - ⑨ 機器の据付について耐震設計を行い、クラスS相当を確保出来る工法とすること。
 - ⑩ 院内作業ルールに基づき必要な養生・防塵対策費用を含むこと。
- (9) 既設機器撤去処分
下記既設機器を担当職員と打合せの上、撤去処分すること。
 - ① 既設電話交換機設備：産業廃棄物マニフェストに基づく。
 - ② 既設周辺機器・既設配線材料：産業廃棄物マニフェストに基づく
- (10) その他
 - ① 設置箇所の周辺は常に整理整頓を行い、作業員、職員、入院患者、外来者の安全に支障のないよう留意する。

- ② 機器等の搬入及び工事による騒音等で執務及び入院患者に影響が予測される場合は、事前に担当職員等と協議のうえ、承諾を得ること。
- ③ 新規納入機器においては1年間無償にて修理を行うこと。但し、天災及び発注者に起因する機器破損においては別途相談とする。
- ④ 工事で施工業者の起因する機器以外の破損及び故障については、2年間無償にて修理を行うこと。

2. 設備仕様

(1) 交換方式

- ① 制御方式 蓄積プログラム方式
- ② 通話方式 時分割PCM方式
- ③ 処理方式 分散制御方式

(2) 装置構成

- ① 通話路 時分割1段通話路
- ② 制御装置 32ビットマイクロプロセッサ
- ③ 主記憶装置 コンパクトフラッシュ
- ④ 入出力装置 システムコンソール
- ⑤ 冗長構成 二重化

(3) 構造

電話交換機本体、整流器、自立キャビネット1架構成

(4) 収容回線数・端末数

種 別	実 装	最大容量	備 考
アナログ局線	1 6 回線	3 2 回線	ひかり電話用（8 回線）含む
B R I 局線	3 回線	1 2 回線	ひかり電話用
OD専用線	1 6 回線	1 6 回線	ナースコール連動用
B R I 内線	2 4 回線	2 4 回線	ナースコール連動用
局線中継台	2 回線	2 回線	中継台 2 台
B S 制御線	1 3 0 回線	1 4 4 回線	PHSアンテナ 1 3 0 台・PHS 4 6 0 台
デジタル内線	3 9 回線	9 6 回線	多機能電話機 3 9 台
アナログ内線	4 3 7 回線	4 8 0 回線	一般電話機 4 3 7 台
音声応答装置	2 台	-	着信お待たせ機能（コールシーケンサー）

(5) トラフィック条件

基準内線呼量は 6 . 0 H C S とする。

(6) 電源電圧

本体装置 DC運転時 直流－4 3 V ～ －5 6 V

(7) ダイヤル条件

P B 信号 0 ～ 9、*、#

(8) 線路条件

- ① 内線ループ抵抗 8 0 0 Ω 以下(電話機内部抵抗含む、P B 信号)
- ② 内線漏洩抵抗 2 0 k Ω 以上
- ③ 局線 局交換機の条件に従う

④ 長距離内線ループ 3500Ω以下(電話機内線抵抗含む)

(9) 環境条件

- ① 温度 0～40℃(空調によりこの条件を超えないものとする)
② 湿度 20～80%RH(但し結露しない事)

(10) 冷却方式

強制冷却

(11) 番号計画

内線番号	2×××、3×××、 4×× ～ 8××
特番	1×
局線発信	0
中継台呼び	9

(12) ラインクラス

	国際	全市外	特定市外	市内	依頼発信	局線着信	中継台呼
超特甲	○	○	○	○	○	○	○
特甲		○	○	○	○	○	○
準特甲			○	○	○	○	○
甲				○	○	○	○
準甲					○	○	○
乙						○	○

(13) サービス機能

ラインクラス・呼出信号区別・自動ハウラ・ラインロックアウト・ナンバリングフリー
リセットシフトコール・保留音送出・可変不在転送・ピックアップ・市外制御
コールバックトランスファ・トランクキャンプオン・コールパーク・夜間転送(中継台切替)
電子電話帳(多機能電話機)・クイックビジー(中継台)・通話料金管理
幹部秘書サービス・発信者番号通知サービス

(14) 保守サポート期間

設置後10年可能なこと。消耗品を除く。

3. 電源装置

整流器とバッテリーで構成され、交換機本体架とデザインを合わせて併設が可能とする。
商用電源は単相AC200V、バッテリーは小型シール鉛蓄電池で停電補償時間は2時間とする。

4. 本配線盤

既設の配線盤を使用し、必要に応じて接続端子等を取替及び追加する。

5. 周辺端末機器等の数量

- ① デジタル多機能電話機 39台
② アナログ一般電話機 437台(既設を使用)
③ 音声応答装置 2台(既設を使用)
④ PHSアンテナ 130台(IDを除く129台は既設利用)
⑤ PHS 460台(既設利用)
⑥ 局線中継台 2台
⑦ 料金管理装置 1台
⑧ システムコンソールPC 1台